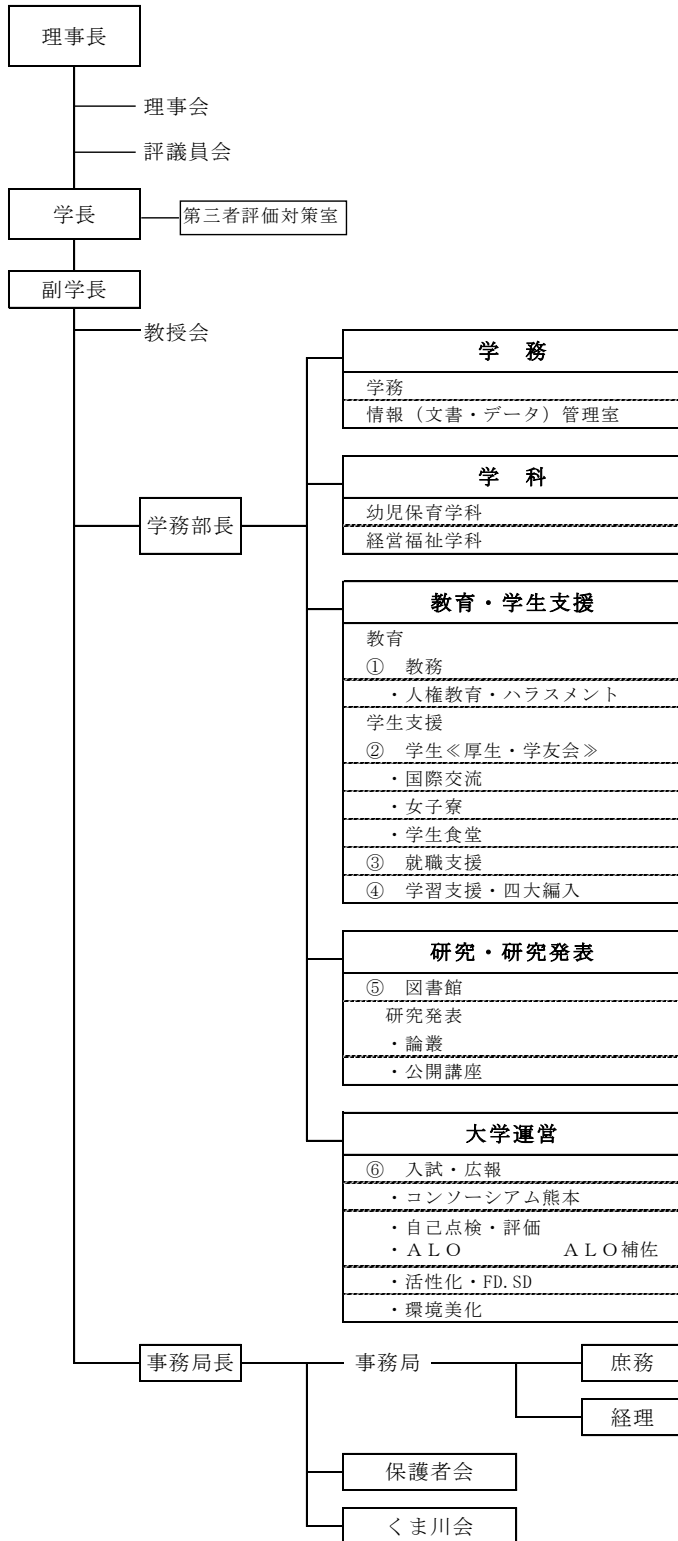


2. 修学上の情報等

(1) 教員組織、各教員が有する学位及び業績

①組織図

平成28年度 中九州短期大学校務分掌



②教員紹介

[経営福祉学科](#)

[幼児保育学科](#)

③専任教員の年齢構成

区分	年齢ごとの専任教員数						平均年齢
	70以上	60～69	50～59	40～49	30～39	29以下	
経営福祉学科	0	3	0	4	2	1	46
幼児保育学科	2	0	2	4	1	1	48
合計	2	3	2	8	3	2	47

④職階別教員数

区分	職階ごとの専任教員数					兼任	計
	教授	准教授	講師	助教	助手		
経営福祉学科	3	3	3	1	0	13	23
幼児保育学科	5	0	4	1	0	15	25
合計	8	3	7	2	0	28	48

⑤専任教員と非常勤講師の比率

区分	専任教員数		非常勤講師		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
経営福祉学科	10	43%	13	57%	23	100%
	10	40%	15	60%	25	100%
幼児保育学科	20	42%	28	58%	48	100%
	20	42%	28	58%	48	100%

(2) 入学者に関する受入方針及び学生の状況

①アドミッションポリシー（入学生受入方針）

本学では、建学の精神である「師弟の和熟による人間形成」を実現するために、人間教育を基礎とした個人の持つ可能性の探求と地域社会・文化・産業の発展に向けた有為の人材の育成を目指しています。そのため、次のような人材を求めています。

経営福祉学科

急激な高齢化や高度情報通信化などの社会の変化に対応できる、広い視野と的確な判断力を備えた積極的で意欲のある人材。

幼児保育学科

将来、保育所・幼稚園・社会福祉施設などで活躍したいと考え、保育士資格や幼稚園教諭二種免許の取得を目指す人。

②入学者数の推移、在学者数、収容定員充足率

区分		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
経営福祉学科	入学定員	50	50	50	50	50	50
	入学者数	46	64	41	57	50	42
	入学定員充足率	92%	128%	82%	114%	100%	84%
	入学定員	100	100	100	100	100	100
	入学者数	99	110	100	96	95	85
	入学定員充足率	99%	110%	100%	96%	95%	85%
幼児保育学科	入学定員	80	80	80	80	80	80
	入学者数	78	76	79	80	81	72
	入学定員充足率	98%	95%	99%	100%	101%	90%
	入学定員	160	160	160	160	160	160
	入学者数	170	156	154	156	157	151
	入学定員充足率	106%	98%	96%	98%	98%	94%
合計	入学定員	130	130	130	130	130	130
	入学者数	124	140	120	137	131	114
	入学定員充足率	95%	108%	92%	105%	101%	88%
	入学定員	260	260	260	260	260	260
	入学者数	269	266	254	252	252	236
	入学定員充足率	103%	102%	98%	97%	97%	91%

③学位授与数（卒業者数）

区分	H22 年度	H 23 年度	H 24 年度	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度
経営福祉学科	56	51	44	55	37	42
幼児保育学科	52	82	73	69	71	65

④資格取得者数

区分		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
経営福祉学科	訪問介護員 2 級	2	1			
	介護職員初任者研修			3	1	2
	介護福祉士	26	26	33	26	30
	福祉用具専門相談員	31	23	35	29	30
幼児保育学科	保育士	68	65	65	64	61
	幼稚園教諭二種免許	66	57	64	59	52
	初級スポーツ指導員	24	28	23	16	13
	ピアヘルパー	30	30	29	38	34

⑤卒業後の進路（進学及び就職状況）平成27年度進路状況一覧表 平成28年3月31日現在

	経営福祉学科			幼児保育学科			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
a 卒業者数	28	14	42	12	53	65	40	67	107
b 就職希望者数	23	10	33	10	50	60	33	60	93
c 就職内定者数	21	10	31	10	48	58	31	57	89
就職内定率 (c/b)	91.3%	100%	93.9%	100%	96%	97%	93.9%	96.7%	95.7%
d 四年制大学希望者数	2	1	3	1	0	1	3	1	4
e 四年制大学合格者数	2	1	3	1	0	1	3	1	4
f 専攻科希望者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
g 専攻科合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
h 専門学校等希望者数	0	1	1	0	0	0	0	1	1
i 専門学校等合格者数	0	1	1	0	0	0	0	1	1
j 研 究 生	0	0	0	0	0	0	0	0	0
k 科目等履修生	0	0	0	0	0	0	0	0	0
l 一時的な仕事に就いた者（アルバイト・パート・契約社員等）	2	0	2	0	2	0	2	2	4
m 就職未決定者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
n 進学・就職以外の者（家事手伝い等）	3	2	5	1	3	4	4	5	9
o 進路希望者数 (b+d+f+h+j+k+l)	25	12	37	11	50	61	36	62	98
p 進路決定者数 (c+e+g+i+j+k+l)	25	12	37	11	50	61	36	62	98
進路決定率 (p/o)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
進路決定率 (p/a)	89.3%	85.7%	88.1%	94.3%	94.3%	93.8%	90.0%	92.5%	91.6%

⑥前年度の全学生数に対する退学（除籍含む）の人数と割合（中退率）

区分		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
経営福祉学科	人数	3	7	4	10	10
	割合	3%	6%	4%	10%	11%
幼児保育学科	人数	7	6	9	7	13
	割合	7%	5%	9%	4%	8%

⑦留年者数

区分	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
経営福祉学科	0	1	4	0	1
幼児保育学科	4	4	6	4	8

⑧社会人学生数

区分	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
経営福祉学科 (依託学生)	1 (3)	0 (9)	0 (3)	1 (4)	0 (4)
幼児保育学科	8	2	8	1	7

⑨留学生数

区分	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
経営福祉学科	3	1	4	3	5
幼児保育学科	0	0	0	0	0

⑩進学者数

区分	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
経営福祉学科	1	0	4	4	4
幼児保育学科	0	1	1	1	1

(3) 授業科目、授業の情報及び内容並びに年間の授業計画

①カリキュラムポリシー

経営福祉学科

- a) 生き抜く力を涵養するため、少人数ゼミ制の科目を設け、学生が自ら考える態度を養えるようにしている。
- b) 基礎学力を重視し、幅広い教養を身につけるための科目を設けている。
- c) 十分な専門知識や技術を習得し、活用する力を身につけるため、実学を重視した実践教育に力を入れている。
- d) 地域社会に貢献できる人材に育つよう、授業の一環として地域交流を行っている。

幼児保育学科

- a) 保育者としての専門性を身につけるため、少人数制を取り入れ、実践を重視したカリキュラム編成にしている。
- b) 社会的常識や幅広い教養を身につけるため、多彩な外部講師を招いている。
- c) 生活の香りのする保育者を育てるため、八代の地域性を活かした地域交流を行っている。

②平成 28 年度学年暦

③シラバス

経営福祉学科	1年	2年
幼児保育学科	1年	2年

(4) 学習の成果に係る評価及び卒業または修了の認定に当たっての基準

①授業科目一覧表 (必修・選択・自由科目別の必要単位修得数)

②取得可能学位

本学を卒業した者には、短期大学士（経営福祉学科は経営福祉学、幼児保育学科は幼児保育学）の学位が授与される。

経営福祉学科 (平成 19 年度入学生より)

学科	学位に付記する専攻分野の名称
経営福祉学科 (Department of Management and Welfare)	経営福祉学 (Associate of Management and Welfare)

幼児保育学科 (平成 17 年度入学生より)

学科	学位に付記する専攻分野の名称
幼児保育学科 (Department of Early Childhood Care and Education)	幼児保育学 (Associate of Early Childhood Care and Education)

(5) 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

①学内の学生支援組織

[学習支援センター](#)

[就職支援センター](#)

②奨学金に関する情報

学業または課外活動において顕著な実績を残した高校生を対象に特待生選考試験（入学試験）を実施している。学納金のうちの授業料の減免を行うが、減免率は受験生の成績により異なる。採用人数は若干名。採用期間は原則一年間。

外部奨学金の紹介について

経済的理由のために修学困難な学生を対象に奨学金の紹介を行っている。いずれの奨学金も学生課を通して申込みを受け付ける。

- ・日本学生支援機構奨学金
 - 第一種奨学金（無利子）…四月受付
月額 30,000 円又は月額 53,000 円(自宅外 60,000 円)。
 - 第二種奨学金（有利子）…四月受付
月額 30,000 円、50,000 円、80,000 円、100,000 円、120,000 円から選択。
 - 緊急奨学金…家計急変等の事由がある場合に限り随時
条件は第一種奨学金に順ずる。
 - 応急奨学金…家計急変等の事由がある場合に限り随時
条件は第一種奨学金に順ずる。
- ・熊本県育英資金奨学金…四月受付
月額 35,000 円。主たる生計支持者が熊本県内在中
- ・宮崎県育英資金奨学金…四月受付
月額 52,000 円、39,000 円、26,000 円(自宅外 59,000 円、45,000 円、30,000 円)から選択。
主たる生計支持者が宮崎県内在中
- ・壽崎育英財団奨学金…四月受付
月額 10,000 円の一年間給付。主たる生計支持者が九州内在中
- ・鶴友奨学会奨学金…四月受付
月額 30,000 円。主たる生計支持者が熊本県内在中
- ・その他
あしなが育英会、交通遺児育英会などの奨学金のほか保育士・介護福祉士等修学資金などの貸付の紹介も行っている。

(6) 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

①ディプロマポリシー

経営福祉学科

- a) 多様化した社会での「生活力」を身につける。
- b) 正しい職業倫理観と経営感覚を身につける。
- c) 基礎学力と専門知識及び技術を習得し実践力を身につける。
- d) 職業人として最も基本となる人間性を育み、地域の活性化に貢献できる力を身につける。

幼児保育学科

- a) 理論と実践の融合を図り、保育者としての専門性を身につける。
- b) 社会的な常識や、幅広い教養を身につける。
- c) 時代にあった生活感を身につける。

②履修モデル [履修の規則及び履修方法](#)

経営福祉学科

介護福祉士コースと経営情報コースの2つのコースがあるが、介護福祉士コースは資格取得のため、ほぼすべての科目が資格必修科目となっている。経営情報コースは、会計を中心に学び税理士受験資格を得られる履修モデル、情報技術を中心に学び情報処理技術者を目指す履修モデル、四年制大学への編入を目指す履修モデルを用意している。

幼児保育学科

幼児保育学科も経営福祉学科の介護福祉士コース同様に、ほとんどの科目が資格必修科目となっているが、保育実践力を身につける保育総合コースの履修モデルと子供の心自分の心いろいろな形の心理を学ぶ子供心理コースの履修モデルがある。

③主要科目の特徴

経営福祉学科

ライフプランニングⅠ
ワークやディスカッション等を通して、将来より良い人生を送るための生き方や社会との関わり方等を自ら考え構築する。

ライフプランニングⅡ
自分らしい生き方を実現するためのキャリアプランニングを行う。卒業後の進路についてはもちろんのこと、人としての生き方にとって必要な行動目標を明確にしていく。

地域福祉論
地域包括ケアシステムの重要性が提起される中で、本学では介護福祉士取得にむけた養成カリキュラム以外に地域福祉論を設けている。地域福祉論では、地域社会の理解をはじめ、人々が要介護状態になっても地域で安心して暮らしを営める社会の実現に向け、地域福祉の基本的考え方をはじめ、多様な地域における社会資源の理解や各専門職の役割の理解等について学修をおこなう。

医療的ケア演習
喀痰吸引や経管栄養に必要な人体構造や機能などを学び、最新のモデルを使って、口腔、鼻腔、気管カニューレ内部からの吸引を各5回以上実施する。更に、胃ろうや経鼻経管栄養も各5回以上実施することにより、医療的ケアを安全に適切に行う為の基礎的知識と実施手順の修得を目指す。

幼児保育学科

基礎演習（1年生）

この演習では、社会人や保育者にとって必要な素質を身につける事を目標としています。例えば「大学での学び方」「保育用語テスト」「日本語文章作成」等の内容が含まれており、基礎的な学習スキルや知識の向上を目指します。また「ボランティア講座」では、外部講師の指導のもと点字や手話などを実際に体験しながら福祉マインドを学んでいきます。

キャリアスタディ（2年生）

この演習では、1年次「基礎演習」の内容を拡充し、将来展望をさらに明確化するための内容となっています。例えば、就職活動に必須の心構え、知識やスキル等の学びに特化した講義やガイダンス、演習等も数多く用意されています。

④科目ごとの目標

シラバスを参照してください。

（7）国際交流・社会貢献等の概要

①協定相手校

協定相手校はありません。

②社会貢献活動

③大学間連携・高大連携

高大連携事業

地域の高等学校定時制との連携教育で、協定を締結し、希望者を科目等履修生として受け入れ単位取得が可能となる。さらに本学に進学した際には、既修得科目は単位認定する。

【受け入れ状況】

◆八代東高等学校定時制(平成21年2月:協定締結)

平成21年4月～平成22年3月迄受け入れ(八代東高等学校定時制と八代工業高等学校定時制統合のため)

対象者学年	平成21年度	平成22年度	平成23年度
2年次	0	4	0
3年次	4	0	5
合計	4	4	5

◆八代工業高等学校定時制(平成23年2月:協定締結)

平成 23 年 4 月より受入れ

対象者学年	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
2 年次	2	4	2	2	0	1
3 年次	0	1	1	0	0	0
合計	2	5	3	2	0	1

大学間連携

[大学コンソーシアム熊本](#)

熊本県内にある大学・高専等（14校）が協力して、地域社会の教育・文化の向上・発展に貢献し、熊本の教育環境の向上に寄与することを目的としています。

④産官学連携

現在のところありません。